

1級DCプランナー(企業年金総合プランナー)資格更新研修会

受講レポート(2018年11月10日)

登録番号

氏名

※本日の研修会における3つの講義について、講義のポイントならびに受講した感想を以下に簡潔にご記入ください。記入内容によっては、資格を更新できない場合がありますのでご注意ください。

◆講義I: 企業年金等の現状と課題

《講義のポイント》

老後の所得確保の為には、公的年金のみに頼るのではなく、その後の就労と私的年金の充実が大切になる。

高齢者の就労参加の促進と意識改革、そして私的年金の加入啓蒙とわかりやすい制度の設計が必要である。

《受講した感想》

講師もおっしゃっていたように、iDeCoの例をとっても、制度もプラン等もわかりにくいと思う。法改正により加入資格が広がり、年単位化が導入されたり、企業型個人型同時加入も一部で認められたりしたが、便利さよりも複雑さが目立つ。運営も顧客に説明するのが大変だろうと思う。国、連合会、運営など協力して考えて、わかりやすい制度を追求して欲しいと思う。

～ご記入のうえ、受付にご提出ください～

(裏面に続く)

## ◆講義Ⅱ：企業年金制度統合に伴う課題と対応

### 《講義のポイント》

制度設計（既得権をとれだけ守るか/世代間格差を考慮）～

労力をかけて説明/交渉する～時間と明書員の各種手続、という

プロセスをとる。制度統合の目的と方向性を明確にすることが大事。

特に関係者間（人事/基金/コンサル/信託…）の密接な連携も大事。

### 《受講した感想》

ステークホルダーが本当に多く、困難が多かったと感じた。

結局はみは「自分はいくらもらえるのか」という言葉も実感かたもあって

印象的だった。制度統合は新たなスタート、将来起こり得る

問題を丁寧にひらき、考えていくことが大事とも思った。

## ◆講義Ⅲ：公的年金の現状と課題

### 《講義のポイント》

● 数字だけにまどわされたい。名目と実質は意味がちがう。

● 年金安定のポイント1は、受給者を減らし支え手を増やすこと。

現実的には、元々は高齢者の就業と物価受け入れなど。

● 賃金上昇率と物価変動をよく考慮する。

### 《受講した感想》

世の中でさめがれる「年金は危ない！ くり下げで少しでもおトクに！」

という言葉に、せめてDCプランナーのはじめとして、乗せられたいようにしよう

と感じました。本日一番早い講義で、先行きに暗くなりすぎます。

まきはしっかり数字を言えようと思いました。

～ご記入のうえ、受付にご提出ください～